

V 有効性や効率性の向上の可能性があると判断した事務事業⇒ ② 臨時的任用職員等の活用

「検討」と判断した事務事業は、費用対効果や手段の問題等、解決しなくてはならない課題があり、当面は検討を行うものとします。「課題を解決し推進」とした事務事業は、担当課において実施にあたり課題があると判断した事務事業であり、その解決が可能であれば推進することとします。「推進」と判断した事務事業は、推進に向け予算編成に活用することとします。

整理No.	課名	事業CD	事務事業名	区分	V-②臨時的任用職員等の活用		評価調整委員会評価
					理由	課題	
1	納税課	3074	市税徴収管理事業	自治事務	有効性向上の可能性はある 再任用職員増で窓口対応、電話催告、訪問徴収を行うことにより、有効性を向上させられる。	ない	推進 費用対効果を意識したうえで、徴収率向上にむけた、更なる体制強化を推進すること。
2	市民税課	3072	市民税総務事業	自治事務	有効性向上の可能性はある 臨時職員に事務を移譲することにより、正規職員はより精度の高い賦課事務に従事することで、公平で適正な課税を実施する。	ある 年々申告者が増加する中において、総務事業の臨時職員数は現状を維持し、より多数の申告受付及び申告時間の短縮に努める。	課題を解決して推進 臨時的任用職員の投入コストと業務フローの見直しとを連携比較し、今後も引き続き検討すること。
3	資産税課	3073	資産税総務事業	自治事務	両方可能性はある 各事業(資産税賦課事業、固定資産土地評価事業、同家屋評価事業)が必要とする臨時的任用職員(人材)の質と量及び活用期間を正確に把握し、的確な採用基準を設けて、必要とするときに、必要なだけを採用し、各事業に配置する。これにより、各事業の人的コストを抑制することが出来る。	ある 臨時的任用職員の任用にあたり、的確な採用基準及び業務計画を設定するため、各事業における臨時的任用職員の受入態勢の整備や、必要な人材の質・量及び活用期間をあらかじめ明確にする必要がある。優秀な人材を必要とときに必要なだけ確保することは、物品の調達などと異なり決して容易なことではない。	課題を解決して推進 各事業における臨時的任用職員等の活用については、引き続き課題解決に努め、その手法や人的資源の活用について、多角的検討を行っていくこと。
4	生活支援課	3178	生活保護総務事業	法定受託事務	効率性向上の可能性はある 面接相談員等の活用など、業務の専門性に応じた人員配置を行うことにより事務作業の効率化を行うことができる。	ある 面接相談員等の雇用にかかる費用の増加	検討 臨時的任用職員等によって可能な業務を整理し、費用対効果を検証したうえで、業務の効率化を図ること。
5	指導課	3388	特別支援教育事業	自治事務	両方可能性はある 特別支援学級や通常の学級に在籍する発達障害を含めた障害のある児童生徒の必要に応じた支援のための人員を配置することにより、所期の目的に近づくことができると考える。	ある 人員配置のための経費増。	検討 発達障害の児童生徒への対応のための人的配置については、費用対効果を検証したうえで、順次推進すること。

整理 No.	課名	事業 CD	事務事業名	区分	V-②臨時的任用職員等の活用		評価調整委員会評価
					理由	課題	
6	指導課	3 3 8 9	読書教育 推進事業	自治 事務	有効性向上の可能性がある 23名の読書指導員のうち半数の11名が小学校、中学校の併任となっているため、読書指導員を増員し、小中各校に専属の指導員を配置すれば、児童生徒の読書活動が一層充実する。	ある 読書指導員増員に伴う経費増。	検討 読書指導員の増員については、費用対効果を検証したうえで、順次推進すること。
7	指導課	3 5 3 6	適応支援 センター 運営事業	自治 事務	有効性向上の可能性がある 家に引きこもりがちな児童生徒宅に派遣する訪問相談員や通所児童生徒の集団活動を支援する教育相談員を活用することにより、不登校児童生徒の社会性の向上を図る。	ある 訪問相談員・教育相談員等の増員、訪問相談の充実のための車両整備。	検討 訪問相談員、教育相談員等の増員については、費用対効果を検証したうえで、順次推進すること。